

共益法人 ベルリン中央学園補習授業校「だより」

# 菩提樹

(リンデンバウム)

二〇一四年度第二号

通算第五十三号

発行  
ベルリン中央学園  
補習授業校

編集  
『学園だより』  
委員会

発行日  
2015年3月20日

## 日本人パパの奮闘記

学校の長い階段を、子どもたちの手を引きながら連れてきてくれる優しいパパ、行事に溢れるパワーを持って参加してくださる頼もしいパパ。

近年、本校でも日本人パパの家庭が増えていきます。パパだからこそこできる子どもとの関係づくり、日本語環境作りにおいて、ママとは違った視点・考えがあるのではないでしょうか。またそれらの情報共有は、保護者の方々にとって有益なのではないかと考え、教員会で今回の一面記事は日本人パパへのインタビューを企画いたしました。

外国で育つ子どもたちに、日本語を母語として継承する道のりは容易ではないと、どのご家庭も感じることであり、試行錯誤しながら日々奮闘されていることと思います。この記事をお読みいただくと、子どもたちとの時間の作り方について改めて考えることができ、共感される部分、参考にできる部分も多くあると思います。六名の日本人パパたちへ五つの質問をしました。パパたちはどんなことを思い、どのよう

にして子どもたちと日々歩んでいるのでしょうか。



- 【パパA】 小学低学年・中高生の三人のパパ
- 【パパB】 幼稚園に通う子のパパ
- 【パパC】 幼稚園・小学部に通う子のパパ
- 【パパD】 幼稚園に通う子のパパ
- 【パパE】 小学低学年の子のパパ
- 【パパF】 小学低学年の子のパパ

### 質問一 子どもとの時間の作り方(工夫や理想を含めて)

【パパA】 仕事柄ベルリンにいる時間が極端に少ないので、可能なときは幼稚園や学校への送り迎えをする。

家族との休暇では子どもとじっくり遊び、長さではなく、時間の濃さで補います。

時差のある海外長期滞在中でも深夜起きて、スカイプで日本語の宿題を手伝ったり、ピアノの練習をみてあげたりします。

### 【パパB】

ほぼ二十四時間毎日子どもと一緒にいます。遊ぶ時は自分の人生をあきらめたつもりで一〇〇パーセント遊ぶ。遊びたくない時は死んだ振りをします。

### 【パパC】

今は早朝、朝ごはん前、そして夜おやすみと挨拶をするくらいです。その他の会話もありますが、日本語では簡単な事柄だけで、その他の会話はやはりドイツ語になってしまいます。あとは日本人の客人が来るときは日本語を使います。週末もあまり遊べていません。

### 【パパD】

なるべく幼稚園に迎えに行く。一日の出来事を日本語で話してもらいます。子どもが幼稚園で楽しくやっているか、問題がないかを知る手だてになります。

また、幼稚園で初めて覚える言葉もあるので、最初はドイツ語のまま出てきますが、それらを一一つ一つ日本語に直して教えるようにしています。今では覚えたてのドイツ語の単語を「日本語では何て言うの？」と自分から訊いてくれます。

### 【パパE】

平凡ですが、出張以外の時は夕食までに帰宅するようにする。夕食時の家族の会話はドイツ語が主体ですが、私が子どもに話しかけるときのだけは日本語になっています。最近是小二の娘が少し日本語を混ぜてくるようになってきました。子どもの返事はほぼすべてドイツ語です。

ただ、私の日本語を妻が分からなかった時は子ども達に通訳してもらっています。

週末には出来るだけ子ども達と外に出たり、スポーツに行ったりするように心がけています。

### 【パパF】

仕事からの帰りが遅いので、夜は時間が取れません。ですので、やってほしい宿題などは、毎日短い手紙に書いておきます。時々短い返事をくれることがあります。平日のコミュニケーションの時間は、登校前の短い時間と、この手紙のみです。

ですから、週末にまとめて時間を作っています。彼女の興味あることを、できるだけ一緒に行うようにしています。また、就寝前の読み聞かせは、毎週末欠かさずしています。

### 質問二 日本語環境作りで意識していること

#### 【パパA】

自宅や休暇先で、就寝前に日本語の本の読み聞かせをします。上の子も巻き込むために、「ドラえもん」など演目も工夫しています。(さすがに十四歳になると、ドラえもんでも付き合ってくれなくなりますが…)

息子が小さい時には、仮名に興味を持つよう絵付きのひらがなカードを息子宛へ郵送したり、教科書に出てきている漢字を混ぜた簡単なメッセージをハガキで出したりします。

### 【パパB】

ハローキティを家じゅうに存在させる。

子どもが可愛いと思っているハローキティを置くことで、親がキャラクターの声真似をして、普段の自分の話し方ではなく、違った言葉の使い方です話しかけてあげることができるという利点があります。特に、母親がドイツ人の我が家では、日本語の言葉などを聞く機会が少ないので、そういうことも教えられるのではないかと思えます。

### 【パパC】

子どもはドイツ語発語がほとんどです。私は簡単なことはなるべく一度日本語で言いますが、理解できなさそうだなと思うと、はじめからドイツ語になってしまうことが多いです。

### 【パパD】

様々な本を豊富に。  
絵本の他、動物、科学、地理、芸術、日本の歴史など、一緒に勉強するつもりで広範囲に子どもが何に興味を持っているのか知ることにも役立ちます。

### 【パパE】

子どもには日本語でしか話さない。これしかありません。

### 【パパF】

「パパとは日本語、ママとはドイツ語」の使い分けを徹底させたかったので、幼いころは、まず、「日本語とドイツ語を混ぜて話すのは格好悪いこと」と教えてきました。混ぜて話すこ

とがなくなってきたら、いつも日本語で話しかけるようにしました。「パパの言葉は日本語だから、日本語で話してくれるともっとよく分かるし、うれしい」と伝え続けました。

現在は、共通の話題作りを心掛けています。日本のアニメやバラエティー番組を見て、それについて話すときは、日本語の方が楽なようです。そういう番組を毎週定期的に見て、一緒に話し合えるテーマをたくさん作るようにしています。

また、日本語の勉強を習慣づけるために、毎日、十分でも机の前に座るようにさせています。一日で一週間分の宿題をこなすよりも、負担感は少ないようです。宿題は小出しで取り組ませています。

### 質問三 してあげられたらいいな、こんなこと、と思っていること

#### 【パパA】

一度熊本に帰省した際に、自分が通った幼稚園・小学校・中学校の夫々に息子三人を体験入学させることができました。またいつか、同じような機会をつくってあげたいです。

#### 【パパB】

○日本語という財産を残す。

日本語で語り掛ける、日本語で絵本を読んであげる、日本語の歌を歌うなどです。自分が俳優・声優業でこちらで仕事をしていて、日本語が喋れるということが仕事をやる面で大きな強みになっています。このような職業なので財産を残すことは無理だと思っているのですが、せめ

て言葉だけでも残してあげて、万が一の時くらいつばぐれがないようにと思っています。

○日本料理の味を伝える。

味噌、醤油の味付けに舌が慣れればと思っています。それから米を食べること。今は子どもがまだ料理を手伝うことは難しいので、自分が作ってあげることでも味を覚えてくれればいいなと思っています。箸の使い方もぜひ覚えてほしいですね。あとは「いただきます」と「ごちそうさまでした」の心などでしょうか。

○日本の音楽を伝える。

CDはもちろんよく聞かせますが、私も一日中歌わされています。むしろ自分が疲れた時に代わりにCDに歌わせているという感じでしょうか。基本的には何でも聞かせていますが、民謡やわらべ歌など音階が日本的なものを意識して聞かせようとしています。私自身がそういうものを特別多く聞いて育ったわけではなく、テレビで流れているものを知らず知らずのうちに聞いて、日本的な旋律やリズムというものは何となく身につけている。自分で本格的にできなくても、物まね程度なら何となくできる。他人が日本の曲を演奏したり、歌っているのを聞いて、「それは何となく日本人として違和感がある」と指摘することができる。その程度に、日本の音楽が身につけてくれればなあと思っています。

### 【パパC】

子ども一人ずつ、一日一緒に水入らずで過ごしてみたいです。

一番いいのは日本へ行くことでしょうかね。そ

うすると自然、日本語を使う機会が増えるので。でもこちらにいて、日本語のためにできること、というところ、日本食を食べに行くことくらいでしょうか。他にも日本語を話す人がいる、日本食レストランだ、などの文脈だと、日本語が使いやすいです。

### 【パパD】

年に一度は日本に連れて帰り、もっと日本を見せたいです。

お寺、神社、あるいはお祭りなど、日本の伝統文化に触れる機会のある場所、それに海や山などの自然も。

親戚に年の近い子どもが多いので、いつも一緒に遊ばせます。前回は子ども七人が集合して大騒ぎでした。彼なりに血縁を理解し、感じているようなので、そのことが日本語学習の意欲に繋がってくれるよう願っています。

### 【パパE】

本当は、もつと日本文化に触れる機会を作ってあげられればいいのですが、大変難しいです。また、日本への訪問は一年おきに、一週間程度。日本に接する機会があるお子さん達が羨ましいかぎりです。また、子ども達には申し訳ないと思っています。

日本のアニメやTVなど、メディアの活用などは長期の休暇に日本語のDVDを家族全員で見ると限られています。息子は補習校を休校中で日本語に接する機会が娘より少ないので、「お姉ちゃんがピアノのレッスンへ行く時はパパと一緒にユーチューブでポケモンやウルトラマンを見ていい。」ということにし

ています。

### 【パパF】

常に、その年齢に応じた、興味を持ちそうな事柄を紹介してあげたいと思っています。例えば、これまで物語が好きだったので、一度伝記を読み聞かせてみたところ、興味を持ってくれました。ですので、現在は読み聞かせ用に、彼女の学年向けの伝記を、自分で読む用に、少した下の学年向けの伝記を与えています。

読み聞かせは彼女のその時々々の興味を知ること、きっかけにもなるので、この先も続けていこうと思っています。

### 質問四 コレが、我が家の流儀！と思って

#### 実践していること

### 【パパA】

三人の息子とも子守唄の担当をしました。彼らが父になり子守唄を繰り返すよう、子どもが大きくなってもしつこく日本語で歌い続けています。それと、どんなに不都合があろうとも、日本語でしか子どもには話しかけない。子どもの成長に伴い日本語で言い直しては失わなくなっても、日本語の聞き取り力だけは失われないようにと、これだけは変えません。

### 【パパB】

子どもは風の子、元気な子。冷たい風の吹く日には外で凧上げをして遊ばせる。

ベルリンの冬は寒く陰鬱です。でも、寒いときには体を動かして熱を発せる体づくり。寒い風が吹きつける日は、凧を空に揚げて、寒い風

が強く吹くことを楽しみに待つような、厳しい環境を肯定的にとらえる心持。そんなものを獲得してくればなど密かに思っています。

### 【パパC】

ただいまとおかえりをちゃんと言うこと。

### 【パパD】

食事をはじめ、何事にも正しい作法や所作があるということを日頃から意識させる。相手や状況に応じて、敬語を使わせる。

食前にテーブルの上に人数分の箸とお椀を正しく配置する、食後に食器を片付ける、というのが子どもの役割です。箸の持ち方はもちろん、食べるときの姿勢やお椀の持ち方、「いただきます」「ごちそうさまでした」などの言葉も厳しくしつけていますが、当然のこととして出来るようになってしまえば何の苦もないはずですよ。

敬語は使用するシチュエーション（空気）を理解する事が大事だと思うので、日本的な意味での礼儀、目上の人に対する尊敬の念を養うことが必要だと考えています。海外ではなかなか難しいのですが…。

### 【パパE】

たまに「これでいいのだろうか？」と不安になることもあります。

我が家の生活環境は、日本の家庭というよりは、ほぼドイツの家庭です。日本食もあまり食べませんし、日本へ行く機会もあまりありません。子ども達も『まだ』日本語で意思疎通をする能力がなく、受身の日本語力だけです。お子

さんたちと日本語で会話をなさっている方々を見るたび、不安になります。それでも、とにかく補習校をつづけること。それだけは何としても頑張りたいと思っています。

### 【パパE】

「なんでも楽しんですること」だと思えます。子どもにも、そして親にも楽しいと思えることなら、自然とそれに取り組む時間も増えていくのではないのでしょうか。例えば、音読をするときに、その声を録音して後で聞きます。子どもにとつて、自分の声を聴くことは笑いを禁じえませんから、毎回楽しんでやってくれます。同じ方法で退屈してきたら、次は楽しくできる違う方法を考えるようにしています。

### 質問五 日本人パパだからこそ、してあげられること

#### 【パパA】

キャッチボールと野球。正しい箸の握り方とのり巻の作り方を教えてあげる。それと、息子三人に「男言葉」で話しかけることでしょうか。

#### 【パパB】

根性論を叩き込む。

具体例を書く根性論とは違ってくるかも知れませんが、例えば寒かったら体を動かせ。怖かったら大声を出せ。そして、向かっていけ。愚痴や文句を言う時間があつたら体を動かせということでしょうか。他の項で書きましたが、冬の寒い、風の強く吹いている日でも、家にとじこもらずに外に出て風を揚げて遊ばせる、雪

が降り積もっている寒い日はそりなどで遊ばせる、というように、なるべくプラス思考で遊ばせたいと思っています。

### 【パパC】

ううん、なんだろう…。

宿題は妻（ドイツ人）が見てくれたり、小三の子の場合は日本人のベビーシッターさんが見てくれたりします。

幼稚園に通う子の場合、トイレの壁にひらがな表を貼ってあるので、それを見て文字を覚えてようです。

### 【パパD】

ヒーローごっこを一緒に真剣にする。

お互い夢中になると、自然と言葉遣いが変わりますし、擬態語のオンパレードです。エスカレーターして多少乱暴な感じになる時もありますが、あくまでも「ごっこ」なのであってよしとしています。

### 【パパE】

息子とはウルトラマンやポケモンごっこ、または忍者ごっこもやります。将来は野球を教えたいとも思います。娘には、漫画を読んでもあげたりしますが、それぐらいでしょうか。

### 【パパE】

一緒に泣いて笑って感動する。

例えば、木の芽吹きや、土の匂い、陽のまぶしさに春の訪れを感じたとき、季節が移り変わる感動をあえて言葉にするようにしています。また、絵本を読んで、思わず泣いてしまったと

き、その理由を言葉で伝えます。日常にあるほんの些細なことも、言葉にしてともに味わう。ママにはかなうことなんて、何一つないけれど、パパができることを強いてあげるとしたら、これだけです。



日本人パパの奮闘記いかがでしたか。どの方も子どもたちの将来のために限られた時間の中、様々な取り組み方をされてきました。愛情あふれるパパたちの姿が浮かび、ご自身の姿や経験と重ねて読まれた方々もいらつしやるのではないのでしょうか。

これからも、このインタビューに答えてくださったパパたちや、保護者の皆様の奮闘記は続いていきます。もちろん長い道のりの途中で、何度も立ち止まってしまうこともあるでしょう。そんな時は、このパパたちのように頑張っている保護者（同志）がいるということを思い出し、この奮闘記がまた先へ歩みだすきっかけの一つになってくれたら幸いです。

最後に、今回のこの企画に快くご協力してくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

## 児童・生徒の作品

### 俳句

なつまつり スイカをたべた あまかった  
小一 ベアー 悠吏

あめふった たいよう出たら にじが出た  
小一 マイヤー ダナ

ゆきがっせん

ぜったいまけない おとなには  
小一 小野瀬 律哉

ふれぜんと いいこにしてね あげるから  
小一 オシアンダー ピナ

ふれぜんと いっぱいあるよ ほしいもの  
小一 チュオン 真衣

ゆきとけて たまごさがした イースター  
小一 日高 コンスタンティン

たべたいな マンゴーアイス たべたいな  
小一 山下 花比女

くりひろい みんなでやるよ もりのなか  
小一 ブーク テオ

スケートで ポーズとったら ころんだよ  
小一 向 貴央

レープクーヘン  
おいしいおかし たべたいな  
小一 水野 珠里

きくらくく そばをたべたよ おいしいよ  
小一 岩永セルゲイ

くらいふゆ いえのなかでの ピクニック  
小一 齋藤 りあな

あかちやいろ  
きいろおれんじ おちばふる  
小一 森田 安奈

バナナかく バナナのペンで いいにおい  
小一 松岡 璃生

おおみそか いっしょに花火 たのしもう  
小一 マルティニーニ メリーナ

トナカイが よぞらのなかを かけめぐる  
小一 高崎 二希多

クリスマス ツリーがひかる よるのまど  
小一 長谷川 銘

まどのそと ゆきがふってる さむそうだ  
小一 田中ベッツ 桃

クリスマス ツリーの下に プレゼント  
小一 長谷川 東子ヘレナ

スノーボーで たのしかったよ クリスマス

小二 池田 伊織

サッカーで ぼくのチームは よんばんだ

小二 水島 嬉杏

サンタさん いいプレゼント ありがとう

小二 佐藤 陽

あそびかた おしえてもらう 春のそと

小二 西木戸 寧々

もうすぐだ クリスマスツリー すてきだよ

小二 辻 璃々

おおみそか 花火がバンバン きれいだな

小二 渡辺 花

ゆきだるま とってもきれいな もうとけた

小二 板橋 エメリーみどり

おかあさん なにをやってる ふゆのよる

小二 岩井 遠造

おおみそか ねむかったのに うるさいぞ

小二 和田 美歌

日本では あきひるばんが なつとうだ

小二 瀬山 マルタ葵

ゆきがふる あついポンチが のみたいな

小二 マルディーニ 晃

雪だるま ふたつ作って 食べました

小三 入山 友樹

日本では さくらの花が きれいです

小三 武田 ゆきの

雪だるま ぼくがころころ つめたいな

小三 瀬川 慈門

大みそか 花火うるさい でもきれいな

小三 早川 ヤマト

年が明け 夜空に宝石 散らばった

小三 樋口 道也

大みそか 花火を見たよ きれいだな

小三 土方 エレナ

クリスマス プレゼントだけ 楽しみだ

小三 フェヒナー 莉々花

冬休み 宿題だけが いやだなあ

小三 ヘーネル 美八

そり遊び 坂を上るの たいへんだ

小三 向キアラ 萌々子

冬休み グーツをしてる 楽しいよ

小三 吉田 レオ豊

はしで切る えだ豆サラダ にげないで

小三 ヨーステン 海音

クリスマス 日本にいたよ ときぼけだ

小四 ブーク フーゴ

ふゆのかぜ ドードー外で さけんぞう

小四 西木戸 音羽

このふゆも スキーレースで トロフィーだ

小四 池田 百花

おしよがつ おせち料理は おいしいな

小四 森本 小紋

クリスマス PCもらった うれしいな

小四 ヒースタント ルカス

がっこうは おしよがつでも つまんない

小四 和田 太陽

夏がいた たこがそらとぶ 気分がいい

小四 有働 啓太

たんじょうび PCもらった あたたい

小四 山下 恭

まっくらだ 羽根つきまけて かおにすみ

小五 姫野 明泉

クリスマス そんざいしない サンタさん

小五 姫野 聡真

ふゆやすみ 始まってすぐ 終わったよ

小五 ギュンター ルイーゼ

へんだった ひよつとこおかめ 初笑い  
小五 渡辺 友暉

クリスマス いっぱい食べて おいしいな  
小五 早川 タクマ

雪合戦 相手を選べば 勝てるかも

小五 ノイエンドルフ アメリ真唯

ゆきふった ずーつと外で 遊びたい

小五 ザイラー 樹行

わが祖母の つくるほしがき 世界一

小五 日下 ハンナ有希子

ゆきのなか ボールをけって ぼつかほか

小六 山本 ノア

ふゆのもの おおみそかです じよやのかね

小六 丹治 悟

くりひろい とげがささるよ ああいたい

小六 早川 タロウ

クリスマス スシをたべたべ おいしいよ

小六 チュオン 健

卒業だ 早く考え 何するか

小六 渡辺 賢人

雪の綿 たくさん取ろうと 手を広げる

小六 樋口 晴野

秋の風 木からおとした もみじふく  
小六 可児島 容

美しい 花火が上がる お正月  
中一 ホーフェリヒター 甲斐

おおみそか 花火満開 花畑

中一 内山 萌那

黒い岩 水をかけると ねつのなみ

中一 岩永 ヴィクトール

寒い冬 家でゴロゴロ 出たくない

中一 山尾 萌香

冬休み 雪が降らない 悲しいな

中一 ヒースタント くらら

おおみそか 爆竹なげた おどろいた

中一 有我 玲哉

雪だるま 作ってすぐに 溶けました

中一 ヒースタント 友理亜

元日や 雪にまぶしい 初日の出

中二 飯吉 まりあ

気がつけば かばんに宿題 ギッシリと

中二 渡辺 太郎

クリスマス プレゼントない へんだった

中二 斉藤 大輝

ノイケルン 違法花火が 打ちあがる  
中二 ザイラー 嗣文

大みそか おせち料理で 年を越す  
中二 日高 バレンティン

冬の朝 雪にキラキラ ひのひかり

中二 小飼 莉咲

冬が来た きらきら落ちる 白い雪

中二 岩永 アンドレイ

お正月 夜更かしのため 眠い朝

中二 フェヒナー 季実花

雪が降る 朝になったら ぞろだらけ

中二 三輪 明日人

大晦日 おぞうに食べて 宮参り

中二 山本 杏奈

積もる雪 ひとりでしごと サンタさん

中二 ピュルシエル 寛太

月明かり 幼馴染と 雪だるま

高一 ゲルマー メラニー

浴衣着て かけぬけてゆく 子供達

高一 山尾 琉那

飲みすぎた 記憶がとんだ 大晦日

高三 斉藤 洋輝

小論文 終わらなかった ヤバイかも

高三 ベルクマンフェリクス

国際部

- ③ わやかな女の子
- ④ りんごを食べる
- ⑤ うんどうも大好き
- ⑥ もだちたくさん
- ⑦ さるが好きで

佐藤 理紗

- ⑧ コンサートにも行きたいな。
- ⑨ もちも食べたい。
- ⑩ もつとリップクリームがほしい。
- ⑪ もだちもいっぱいいる。
- ⑫ ラベッコをいっぱいもっている。
- ⑬ いたけがすきで

白戸 桃子

- ⑭ きがつよい女の子です。
- ⑮ あかるい色のかみの毛の
- ⑯ らムネは好きです。
- ⑰ むしがきらいです。
- ⑱ わたしは
- ⑲ わいパンダのふでばこを持っている。

川村 明

行事あれこれ

小正月会

幼稚部保護者 細野 京子

一月十七日の小正月会。毎年行われていますが、うさぎ組にいる慎之介にとっては初めての事。しかも自分のお父さんが日本太鼓のパフォーマンスをすることもあり、前日から大興奮！当日、会場に入った彼は「ママ、ここがパーティーする所なの？」と目をキラキラさせながら体育館の中を見渡し、飛び跳ねながら中へ進んで行くなど、すでにテンションがあがりっぱなしです！

最初のプログラムが始まり、そしていよいよ餅つき。私が今までどんなに写真や絵を見せて話しても、理解するのが難しかったらしく、興味を示してくれませんでした。実際に自分の目で見て、体験することでやっとその面白さを肌で感じ取ったようです。それは相撲も同じで、よほど印象に残ったらしく、何日たった今でも思い出しては「僕、強かったでしょ！」と、とても誇らしげです。その他にも踊り、和太鼓など、色々なパフォーマンスを興味深そうに見ていました。特に、少林寺を見ていたときは、口が開きっぱなしで、食い入るように見ていました。家に帰ってから、とても満足そうに、思い出せる限り、自分が今体験して来たこと、そして感じた事を楽しそうに話してくれました。

日本の文化をこのような形で知ってくれた

事を嬉しく思うと同時に、このような素晴らしい機会を与えて下さった全ての皆様に心から感謝いたします。本当に有難うございました。



漢字検定

教諭 神尾 さち

今年度も二回の漢字検定が無事終了しました。これを書いている時点ではまだ一月に行われた検定の結果は出ていませんが、それぞれの努力が結果に表れることを祈るばかりです。

毎回漢検や漢字の授業にあたっては、教師は様々な工夫を凝らし、少しでも子どもたちの漢字への苦手意識をなくし、漢字はおもしろいと感じてもらえるように努力しています。

以前、授業中にこんなことがありました。ある生徒が「根」という新出漢字を学習した時に、「根の木へんをはずして、一本線を加えると、『良』という漢字になるよ。そしてその上に人（ひとやね・ひとがしら）を加えると『食』になるよ！」と発言し、私は感心してしまいました。新しい漢字を学習するときに、ただ漫然と漢字を書き、覚えることは子どもにとっても楽しみがありません。しかし例えばこの生徒のように「あ、この漢字はこの間習った漢字に似ている、意味も似ているかな？」「この漢字の部首を変えると違う漢字になる！」というように、



意味も含めて様々な漢字のつながりも考えながら学習を進めていくと、漢字学習のおもしろさにも気づき、やる気の向上につながるかもしれません。

もちろん、目標を持つことも大切です。今年度漢検を受検しなかった児童・生徒も、来年度はまず受検をすること、そして一つでも上の級へ上がることを目指して漢字の学習に取り組んでほしいと思います。

## 幼稚部学習発表会

幼稚部保護者 塩田 智子

この一年間、ぞう組の授業が終わった後、息子が話す日本語はいつも流暢になっていました。月曜日という曜日は「ぞう組の日」として覚えてくれました。授業が終わり、ドアから出てくる子供達はみな一様に笑顔で楽しそうです。四、五歳児にとって九十分間はとても長く、通常は保護者は同伴しません。それにもかかわらず、途中退出する子供はほとんどいなかったと記憶しています。一体、どうやったらそんなにかしら？どんな授業をしているのかしら？と思っていました。

先日の学習発表会は、普段の授業の様子がよく伝わってくるものでした。先生が質問すると次々と手が上がり、マイクを向けられても堂々と答えたり、舞台の上で堂々と皆で歌ったり踊ったりと頼もしい姿を次々と見せてくれました。保護者の方が同伴で行われる授業では、お母さん方のお膝の上で小さな体を揺らしなが

ら笑っている子供達を見て、胸が熱くなりました。どのクラスでも先生と子供達、保護者の方達やお友達同士でもしっかりした絆や信頼感で結ばれているのだなという印象を受けました。

懐かしいメロディや子供達の元気な声を聞いているうちに、ぼんやりと自分の幼稚園時代の記憶が蘇りました。発表内容だけでなく、先生のご挨拶や、発表の合間に流れる童謡、歌に踊り：と何から何まで日本が体現された空間を目の当たりにして、思ったのです。「そうか、子供達は毎週の授業でいつもこれを見ているのか。授業だけでない、たくさんのプラスアルファをいつも体得しているのだ」と実感しました。

幼稚部の人数の多さには驚かされますが、確かに最近では町を歩いていても日本語を聞くことが多くなってきましたし、たまにですが平仮名を見かけることもあります。息子が一生懸命その平仮名を読んでいるのを見るのはとても嬉しいですね。このような状況にあるため、今はベルリンで生活していても、日本語や日本はもっと身近なものになっていくのではないのでしょうか。そのためにも親として、そして一人の日本人として、自分にできる限りのことをやっていたいと思っています。



## 理事会より

副財務理事 有我 恭子

早いもので、私が理事の仕事をするようになって半年以上がたちました。最初は理事という仕事はどういうものなのか全く想像もつきませんでしたし、誘っていたいたときも果たして自分に勤まるのかという思いでいっぱいでした。私が断るとまたどなたか探さなければいけなくなるのかなという思いもあり引き受けさせていただきました。

いざ理事になってみて一番に気づいたことは、理事の方々、先生方も含め学園のためにも考えてくださっていて、皆さん忙しい生活の中で時間を割いてくれているということでした。なにかトラブルがあると、直ぐに協力し合い問題を片付けてくださっていて、その手際よさには本当にさすがだなあ！と実感させられます。理事になるまでは気づきもしなかったことが多々ありますし、今でもこのようなことを続けてこられた理事の方々には感心させられてばかりです。

今後、学園の子供達の数もだんだんと増えていき、理事の仕事が多くなっていく中で新たな問題も多くなってくるはずですが、これからはより保護者会の方々をはじめ皆様にも協力していただく事が何よりだと思えます。これからも子供たちが元気に楽しく中央学園で日本語を学んでいけるように、ご協力よろしくお願いします。

## 教員会より

毎年、この時期、皆様の頭を悩ませている(であろう)文集用の「親からの一言コメント」。今回は、その「親からの一言コメント」の主旨を説明したいと思います。まずはその前に、文集の主旨から説明していきます。

毎年作成している文集は、お子様の「一年の成長の記録」です。それは、いつか彼らが、自分が歩んできた足跡を懐かしく振り返るための「記録」です。教師たちは一年かけて彼らを見守り、節目ごとに作品を集めます。ともすれば見逃してしまいがちな彼らの成長は、その作品群を通じて露わになります。そんな、貴重な一年を記録しているのが文集です。

何年後、大きく成長したお子様が、再び文集のページをめくるとき…。「あの時自分はこんなだったんだ、ママ(パパ)はこんな風に感じていたんだ、先生はこんなことを言ってくれたんだ」と、はじめて彼らは私達のメッセージに気づくかもしれません。文集は、そんな壮大な(何年越しの)プレゼントなのです。

子ども達の一番近い場所にいるお父さんお母さんからのメッセージ。近いからこそ、日ごろ伝えていないメッセージを、どうぞ、文集の紙面を使って伝えてください。今年も、お子様への温かいメッセージをよろしくお願いいたします。



## 保護者会より

### 保護者会の一年を終えて

保護者会副代表 安田 稔

早いもので保護者会のお手伝いをさせていただいて一年になります。できる範囲でやってきたつもりですが、実際には以前に手伝わせていただいた以上のことはできませんでした。しかし岩井さんはじめ代表の方々がどのように動いているのかを垣間見ることができ、改めて頭の下がる思いがしています。

六月の総会での規約改正の際には岩井さんが理事会と掛け合ってくれました。八月の運動会、コメニウス小学校のグラウンドが手狭になったことから今年には会場変更となり、買い出しや機材の設置といった仕事に会場探しが加わりました。岩井さんはいくつかあった候補の中から下見をした上、新しく選んだ学校のグラウンド借用に関する煩雑な手続きのため学校や区役所に出かけるなどしてくれました。一月の正月会、岩井さんや松田さんたちは休日に餅つき機の試運転や買い出し、向さんはチェックリストにある仕事を各クラスの保護者の方々に割り振り、漏れがないよう最後まで目配りしてくれていました。

また、いつも感心させられるのは行事のたびにお手伝いに顔を出してくださる父兄の方々です。今年も多くの方々を手を貸していただきました。こうした方々のおかげで行事の当日は滞りなくどんどん進んでいってしまいうように

感じました。

代表の方々やそうした父兄の方々々に共通しているのはこの補習校への学校愛かもしれません。今後そんな方々がもっと増えてこの学校をより立てていっていただければと思います。





# 図書便り

第七号

## 図書委員から

日に日に暖かさが増し、春の兆しを感じられるようになってきました。

先日は小正月会での古本バザーにご協力いただき、ありがとうございます。お陰様で多くの売り上げを出すことができました。バザーで得た売上は、昨年引き続き図書架の仕切り購入にあてる予定です。

整理整頓しやすく、より見やすい書架を目指していきたいと思えます。

## 本の紹介コーナー

### 『デジタル・デメンチア』

【著】マンフレッド・シュピッツァー

【訳】小林敏明 【監修】村井俊哉

【出版】講談社 【対象年齢】大人

ドイツの脳科学者による、幼児期の過剰なデジタル・メディア利用の問題点を指摘した書です。幼児期におけるデジタルメディアが子どもの脳形成に与える影響とは…。子どもの成長を考えながらデジタルメディアと上手につきあっていくための方法とは…。

本校の会員でもあり、校内作文コンクール審

査員の小林敏明さんが翻訳され、本校に寄贈してくださいました。  
特に幼児の保護者の方々にご一読いただきたい一冊です。  
(文責…教員会)



### 『こんもりくん』

【作・画】山西ゲンイチ

【出版】偕成社

【対象年齢】三歳から

こんもりくんは、小さいころからお風呂がだいじきらいで、髪を切るのもだいじきらいでした。大きくなったこんもりくんは、すごいアフロになっていきます。この髪の毛のなかには一体何が？

お風呂嫌いの男の子の愉快なお話です。髪を切らなければならない、お風呂に入りたがらない子供もこれを読んだら、納得してくれるかもしれません。

### 『なぜ？どうして？かぐのお話 1年生』

【著】コスモピア 【監修】大山光春

【出版】学研教育出版

【対象年齢】小学生一年生から

なぜなぜ？は生き物、身の回り／食べ物、宇宙の話の大きく三つの分野で解き明かされます。途中途中には野口英世についてや花の話が挿入されています。この本の魅力は言葉の平易な表現です。まるである事柄について子どもたちが自分で言葉を選んで語ったかのように。分か

りやすいだけじゃなく、「えー！？そうなんだ！」とどんだん引き込まれて行く面白さです。全体に「なぜなぜを持つ事、発見する事が面白くなる引き金だ」とのメッセージがちりばめられています。

本は一年生用となっておりますが本校の低学年にはとつてもお勧め！なぜ？で自分で読みたくなるから！ふしぎはすてき。

### 『きかんしゃやえもん』

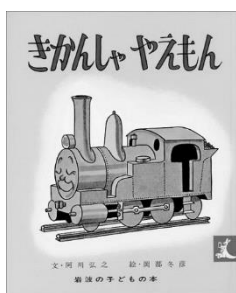
【作】阿川弘之 【画】岡部冬彦

【出版】岩波書店

【対象年齢】四歳から

機関車のやえもんは、その名のとおり古くて気難しい蒸気機関車です。新しい電気機関車にからかわれながら、毎日を過ごしています。ある日怒りながら走ったら、とんでもないことに。

一九五九年にはすでに出版されているこの絵本、お話にメリハリがあるせいか、何度読んでも子供たちが興味津々で聞き入ってくれます。



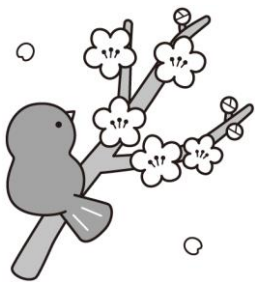
|| 短信 ||

- ベルリン日本語補習授業校の「お正月会」に保護者会代表出席 (二月十四日)
- 在独日本国大使館での「第十一回ベルリン安全対策連絡協議会(安全懇話会)」に理事長出席 (二月十六日)
- 在独日本国大使館の「平成二十七年新年名刺交換会」に理事長他理事二名出席 (一月十六日)
- 「小正月会」実施 (一月十七日)  
御来賓 在独日本国大使館より  
領事 本間 直人様  
本校評議員 生田 千秋様
- 在独日本国大使館での「第十二回ベルリン安全対策連絡協議会」に理事長、校長出席 (二月二十六日)
- 「第二回 日本漢字能力検定」准会場として実施 (二月三十一日)
- 「学習発表会(幼稚部)」実施 (二月二十一日)
- 帝京大学教育学部初等教育学科講師 勝田映子先生がご来校 (二月二十七日)
- 「卒入学式」実施予定 (三月二十八日)

|| 寄付・その他 ||

- 書籍・・・経澤 佳代子様
- 書籍(教材)・・・山下 真智子さん(正会員)
- あめ・・・渋谷 幸子さん(正会員)
- 女性用着物・袴・・・入山 薫さん(正会員)
- 小正月会関連  
備品、ケーキ等寄付・・・会員の皆様  
少林寺拳法演武  
少林寺拳法連盟ベルリン支部)  
(ドイツ少林寺拳法連盟ベルリン支部)  
支部長 Jörg Rackwitz 様  
ノイエンドルフ アメリ眞唯さん(小五) 他 五名
- 花笠音頭披露・・・藤田 昭代さん(正会員)
- 和太鼓演奏・・・齊藤 易子さん(正会員)
- トビアス・シルマーさん(正会員)
- アンドレアス・ケプフさん(正会員)
- フォルカー・マウルシャートさん(正会員)

皆様方の「厚意に心より感謝申し上げます。



あとがき

長くて暗いドイツの冬、まったく中にスタートした三学期。  
でも、コメ小の午後は、外の寒さとうって変わって、子どもたちの楽しそうな話し声、お父さんやお母さんたちの笑顔、先生たちの元気な声が混ざり合い、温かく、躍動感あふれる空気に満たされていました。  
授業が終わるころには真っ暗になってしまふ校庭でも、元気に走り回る子どもたちの姿が、一日の授業を終えてほっとした気持ちに、「また来週！」と、新しいエネルギーを注いでくれます。

寒い冬をものともせず乗り越え、ぐんと成長し、一つの学年を終えようとしている子どもたちの逞しさに元気づけられながら、私もまた、次の新学期へ向けて、気持ちを新たにします。春休み明け、子どもたちの元気な笑顔に再会できるのを楽しみにしています！ (M.J)

共益法人  
ベルリン中央学園補習授業校  
Zentrale Schule für  
Japanisch Berlin e.V.

校舎：c/o Comenius-Schule  
Gieselerstr. 4  
10713 Berlin

電話：+49(0)30 8639 4196  
月・水・木 11時~15時  
火 13時~18時 金 13時~20時

FAX：+49(0)30 8639 4197

メール：info@chuo-gakuen.de

ホームページ：  
www.chuo-gakuen.de